

# 平成31(2019)年度 公益財団法人茨城県消防協会事業報告

## 1 公益1事業（消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化）

### (1) 消防ポンプ操法競技大会の開催

消防団員の消防操法技術の向上と士気の高揚を図るため、県との共催により、第70回茨城県ポンプ操法競技大会を県内4地区で開催した。

出場チーム ポンプ車：33チーム、小型ポンプ：13チーム、計 46チーム  
なお、台風19号の影響により県北地区及び鹿行地区の開催は中止となった。

また、令和元年11月16日（土）には、「第27回全国消防操法大会茨城県代表選考会（小型ポンプ操法の部）」を行い、行方市消防団が優勝し代表チームとなった。

### (2) 第24回全国女性消防操法大会への出場

標記大会が令和元年11月13日（水）に神奈川県横浜市の「横浜赤レンガ倉庫イベント広場」で開催され、本県からは、常総市女性消防隊が出場した。

### (3) 第46回茨城県消防救助技術大会の開催

令和元年6月11日（火）県消防長会との共催により、県立消防学校において、県内4,213名の消防職員から選抜された精鋭360名の隊員が、互いに持つ救助技術を披露し、技術の相互交換研さんの場として開催した。

### (4) 第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会審査員研修会の開催

令和元年7月11日（木）および9月19日（木）に県との共催により、県立消防学校において各消防本部から審査員として推薦された消防職員24名に対し、審査要領等の研修会を開催し、水出し操法における機械器具の取扱い及び操作の基本、隊員の安全管理等を含めた実技を重点的に実施するとともに審査の斉一を図った。

### (5) 消防団長研修会の開催

令和元年7月9日（火）に県との共催により、結城市の「結城市民情報センター」において開催し、県の消防防災行政の概要を消防安全課が説明した後に、県立消防学校の教育訓練についての説明が消防学校から行われた。

また、「常総市坂手町廃材置場火災について」と題して、常総市地方広域市町村圏事務組合消防本部消防長石塚敦氏いしづかつとむによる講演、「広島豪雨による災

害対応について」と題して、消防団等充実強化アドバイザー（広島県広島市安佐南元消防団長の平田信夫氏ひらたのぶお）に講演を行っていただいた。

(6) 消防団員指導員研修の実施

令和元年6月7日（木）～8日（金）の2日間と、令和元年7月18日（木）～19日（金）の2日間の2回にわたり県立消防学校において行われた、「消防団員指導員養成科」に対して経費の一部を助成した。

(7) (公財) 日本消防協会主催研修事業への参加

① 第19回消防団幹部候補中央特別研修への参加

消防団の幹部候補として活躍が期待される消防団員に対し、男女別に特別研修を実施し、将来の消防団幹部を育成するもので、この研修に、行方市の男性消防団員2名と、大子町の女性消防団員2名が参加した。

② 第46回消防団幹部特別研修への参加

消防行政に関する最新の情報や消防団を取り巻く諸問題について学識経験者の意見を聞くとともに、図上訓練やグループによる課題研究を通じて、消防団幹部としての見識を高め、消防団運営に反映させることを目的とした研修に、城里町消防団の森田副団長が参加した。

(8) 女性消防団を結成する消防団及び支部別情報交流会に対する助成

5支部内において女性消防団員の活動状況の情報交流会が実施されたことから、その経費の一部を助成した。

(9) 女性消防団員活性化大会の実施及び全国女性消防団員活性化青森大会への参加

① 茨城県女性消防団員活性化大会

県内の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動について情報交換と市町村を越えた交流を行うことにより、より幅広い視野と知識を習得し、女性消防団員の活動がより一層活性化することを目的として、令和元年12月9日（月）に県庁9階講堂で次のとおり開催した。

○ 講演

- ・ 演題：「熊本地震における消防団活動と今後の課題」  
講師：熊本県西原村前消防団長 馬場 秀昭 氏  
(消防庁消防団員確保アドバイザー)
- ・ 演題：「防災分野における男女共同参画の推進について」  
講師：茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課長  
大谷 美恵子 氏

第2部 (カフェテリアひばり)

意見交換会

② 第25回全国女性消防団員活性化青森大会への参加

令和元年9月19日（木）青森県青森市で標記大会が開催され、全国の女性消防団の活動事例及び火災予防寸劇等が披露され、本県から参加した阿見町女性消防団員が活動事例発表を行うとともに、シンポジウムではパネラーの一人として登壇した。

本県からは、17消防団80名（県消防協会事務局等含む。）が参加した。

また、大会終了後は情報交流会が開催され、全国から参加した約2,600人の仲間と意見交換をし、今後の活動に大いに参考になった。

(10) 支部別消防団長等懇談会の開催

消防団の活性化対策に関する意見交換を行うため、消防団長、消防長及び消防主管課長等の出席を得て、6支部において懇談会を開催した。

【議 題】

- ① 地域防災力の充実強化について
- ② 令和2年度消防学校教育訓練（案）の概要について
- ③ 令和2年度消防団長研修会について
- ④ 令和2年度消防ポンプ操法競技大会の日程について
- ⑤ 令和2年度理事研修会について
- ⑥ （公財）日本消防協会の火災共済及び個人年金等について

支 部 名	開 催 日	開 催 場 所
県南北部	12月23日（月）	土浦市消防本部
県 北	1月17日（金）	常陸大宮市消防本部
県南南部	1月24日（金）	龍ヶ崎市役所
県 西	2月6日（金）	大和ふれあいセンター「シトラス」
鹿 行	2月20日（木）	行方市役所北浦庁舎
県 央	2月21日（金）	コミュニティセンター城里

(11) 理事研修会の実施

令和元年10月16日（水）～10月18日（金）に、理事等15名参加のもと、熊本県、及び長崎県を視察研修した。

初日は、熊本県上益城郡益城町の「益城町役場（仮設）」にて、平成28年の熊本地震での被災状況や消防団の活動状況について説明を受けた。

2日目は、修復工事を行っている熊本城の視察を行うとともに、平成2年に発生した雲仙普賢岳の噴火の教訓を伝える「がまだすドーム」の視察をした。

3日目は、国宝「大浦天主堂」や「長崎原爆資料館」視察を行った。

## 2 公益2事業（消防職・団員の士気の高揚と組織の強化）

### （1） 消防殉職者慰霊祭の執行

令和元年11月7日（木）県立消防学校校庭の「殉職消防団員・職員之碑」前において、県内殉職者79柱のご遺族を招待し、ご来賓多数出席の下、慰霊祭を執り行った。

### （2） 第38回全国消防殉職者慰霊祭への参列

令和元年9月12日（木）（公財）日本消防協会主催により、日本消防会館のニッショーホールにおいて執り行なわれ、本県から葉梨会長をはじめ、ご遺族、事務局員等12名が参列した。

### （3） 消防大会の開催

令和元年11月7日（木）県立消防学校において、県との共催により、消防大会を開催して優良分団等の定例表彰を行った。

併せて消防発展の推進を図り「安全で住みよい郷土茨城」の実現を期する決議をした。なお、会長表彰は次のとおりである。

[定例表彰]

- ・ 優良分団（竿頭綬） 結城市消防団第五分団 他36分団
- ・ 永年勤続功労章 阿見町消防団副団長 石川 孝一 他 90名
- ・ 功 勞 章 常陸大宮市消防団副団長 藤田 佳史 他 317名
- ・ 優良消防職員 筑西広域消防本部消防司令長 中嶋 優 他 46名
- ・ 永年勤続消防職団員妻女表彰 かすみがうら市消防団  
副団長 宮本 均  
妻 女 宮本 文子 他 109名
- ・ 家族消防団員表彰 取手市消防団団員 香取 隆  
副分団長 香取 悠太  
班 長 香取 陽介 他11組22名
- ・ 消防団分団後援会 高萩市消防団第九分団後援会 他 4 後援会

### （4） （公財）日本消防協会会長表彰

[定例表彰]

令和2年3月3日（火）日本消防会館のニッショーホールにおいて開催予定であった式典は、新型コロナウイルスの影響により延期された。

なお、本県の受章団体・受章者は次のとおりである。

- ・ 表 彰 旗 取手市消防団
- ・ 竿 頭 綬 高萩市消防団，大洗町消防団，八千代町消防団

- ・ 優良婦人消防隊 常総市女性消防隊
- ・ 優良婦人消防隊員 さわきこども園女性消防隊 高野 ひろみ
- ・ 功 績 章 石岡市消防団団長 山本 進 他 27名
- ・ 精 績 章 潮来市消防団団長 根本 幹士 他 67名
- ・ 勤 続 章 笠間市消防団副団長 深澤日出男 他158名

(5) 消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会の開催

令和2年2月14日（金）「水戸京成ホテル」において、令和元年消防関係者叙勲・褒章等受章者（春・秋合計60名）を招待し、祝賀会を開催した。

(6) 退職消防団長への報償

市町村長から具申のあった、退職消防団長8名に対し、記念楯を贈呈した。

(7) 退職消防団員への報償

市町村長から具申のあった在職5年以上15年未満の退職消防団員641名に対し、県知事との連名により感謝状及び記念品を贈呈した。

(8) 健康増進事業の実施

消防団員福祉共済制度等の加入促進を図るとともに、加入団体に健康増進器具等を配布した。

### 3 公益3事業（地域連携の強化及び消防防災思想の普及広報活動）

(1) 地域交流活動促進事業への助成

消防団の活性化と地域ぐるみの防災体制づくりを促進するため、住民と企業等との交流活動等を行った26消防団に対し、その経費の一部を助成した。

また、消防団員を雇用する等、消防団に協力的な事業所を認定する「消防団協力事業所表示制度」に基づき、3市の3事業所に表示証を購入し配布した。

(2) 県内消防関係団体への助成

① 支部消防団員教育訓練への助成

支部消防団員の教育訓練を行った1支部及対し、経費の一部を助成した。

② 茨城県女性防火・防災クラブ連絡協議会への助成

県内女性防火・防災クラブの育成を図るため、県女性防火・防災クラブ連絡協議会に対し経費の一部を助成した。

③ 茨城県幼少年女性防火・防災委員会への助成

少年消防クラブ等民間防火組織を育成・支援するため、県幼少年女性防火・防災委員会に経費の一部を助成した。

④ 茨城県消防長会への助成

県消防長会研究部会「署長部会、総務部会、予防部会、警防部会、救急部会」の活動に要する経費の一部を助成した。

⑤ 茨城県消防纏会への助成

県消防纏会の活動に要する経費の一部を助成した。

⑥ (公財) 茨城県消防協会各支部への助成

県内6支部の活動に要する経費の一部を助成した。

(3) 機関紙「茨城消防」の発行

隔月1回(6,300部/2回, 6,150部/4回)発行し、県内の消防機関等に配布した。

(4) 防火ポスター等の配布

(公財)日本消防協会が発行する月刊誌や防火ポスターを県内市町村及び関係機関に配布した。

(5) 新聞掲載・ラジオ放送

「火災予防運動週間」及び「防災の日」に新聞掲載やラジオ放送等を活用し、防火防災思想の普及に努めた。

(6) 第34回茨城県幼年少年婦人防火大会の開催

令和元年8月9日(金)「日立シビックセンター」において、県、日立市、県幼少年婦人防火委員会、県女性防火・防災クラブ連絡協議会、(一財)日本防火・防災協会との共催により開催し、防火思想の普及高揚、各クラブの健全な活動の推進及び民間防火組織の結成促進を図った。なお、大会に要する経費の一部を助成した。

(7) (公財) 日本消防協会役員会議

① 令和元年6月13日(木)日本消防会館において正副会長会議が開催され、葉梨会長及び事務局職員が出席した。

② 令和元年6月14日(金)日本消防会館において臨時理事会及び定時評議員会が開催され、葉梨会長及び事務局員が出席した。

(平成30年度事業報告・決算認定について他)

③ 令和2年3月2日(月)日本消防会館において正副会長会議が開催され、葉梨会長及び事務局職員が出席した。

(令和2年度事業計画・収支予算について他)

- ④ 令和2年3月3日(火)日本消防会館において評議員会が開催され、葉梨会長、森田副会長及び事務局員が出席した。

(令和2年度事業計画・収支予算について他)

(8) 福祉共済事業等運営委員会

- ① 令和元年5月22日(水)日本消防会館において第1回運営委員会が開催され、葉梨会長及び事務局員が出席した。

(平成30年度決算及び事業運営について他)

- ② 令和2年2月18日(火)日本消防会館において第2回運営委員会が開催され、葉梨会長及び事務局職員が出席した。

(令和2年度の事業の運営について他)

(9) (一財)日本防火・防災協会会議

- ① 令和元年6月20日(木)日本消防会館において第123回定時評議員会が開催された(平成30年度事業報告について他)

- ② 令和2年3月17日(火)日本消防会館において第126回定時評議員会が開催された。

(令和2年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について他)

(10) 関東甲信地区消防協会会議

令和元年6月6日(木)～7日(金)に本県が開催当番県となり、土浦市「ホテルマロウド筑波」において開催し、(公財)日本消防協会会長秋本敏文氏及び関東甲信各地区の会長等並びに葉梨会長以下事務局員3名が出席した。

(11) 都道府県消防協会事務局長・共済会支部事務長会議

(公財)日本消防協会が行う事務局長会議が、令和2年2月25日(火)に日本消防会館において開催され、事務局員が出席した。

なお、会議終了後、令和2年10月16日(金)に千葉県市原市の「千葉県消防学校」において開催される、第27回全国消防操法大会の出場順抽選会が行われ、本県代表の行方市は、第2番目と決定した。

(12) 関東甲信地区消防協会事務局長会議

令和元年12月4日(水)～5日(金)に埼玉県さいたま市の「浦和ワシントンホテル」において開催され、事務局職員2名が出席した。

- (13) 全国ブロック別実務担当者会議  
令和元年7月2日(火)～3日(水)に長野県長野市の「長野ホテル犀北館」で開催され、事務局職員2名が出席した。
- (14) その他各種調査等  
公益法人移行後の運営等、各都道府県消防協会等からの照会事項等に対応した。

#### 4 共益事業（消防団員等を対象とした共済事業）

- (1) 弔慰金・見舞金の贈呈  
消防団員・職員の死亡、傷病について、(公財)茨城県消防協会弔慰金等支給規程に定める弔慰金を贈呈した。  
弔慰金 17名 535,360円(振込手数料含む)
- (2) 福祉共済事業  
(公財)日本消防協会が行う消防職・団員のための福祉共済制度の事務処理を行った。  
継続加入団体 53(44団, 8本部, 協会事務局)  
加入者数 23,564名  
掛金総額 70,634,750円  
交付共済金 14,755,000円(77件)
- (3) 火災共済事業  
生活協同組合全日本消防人共済会が行う消防職・団員のための火災共済制度の事務処理を行った。  
継続加入団体 土浦市, 下妻市, つくば市, 高萩市, 鉾田市, 常総市, 大洗町, 笠間市, 北茨城市, 石岡市, ひたちなか市, 日立市, 那珂市, 稲敷市, 阿見町, 八千代町, 守谷市, 大子町(団・本部), 県消防協会  
新規加入団体 無  
加入者数 7,713名  
掛金総額 6,693,780円  
交付共済金 3,885,000円(2件)
- (4) 消防個人年金事業  
(公財)日本消防協会が行う消防職・団員のための消防個人年金制度の事



務処理を行った。

区 分	前年度末,加入人員	本年度加入人員	累 計
消防団員	1,400	4	1,404
消防職員	353	2	355
その他	13	0	13
計	1,766	6	1,772

(5) その他共済事業

婦人消防隊員福祉共済

継続加入団体 3 (牛久市1クラブ, 笠間市2クラブ)

新規加入 ー

加入者数 36名

掛金総額 28,800円

交付共済金 無

5 管理・運営事務

(1) 正副会長会議の準備及び開催

○ 第1回正副会長会議

日 時 平成31年4月15日(月)

場 所 県立健康プラザ 3階「研修室3」

協議事項 理事会及び評議員会への提出議案について

○ 第2回正副会長会議

日 時 令和元年5月24日(金)

場 所 県立健康プラザ 3階「大会議室」

協議事項 ① 第46回茨城県消防救助技術大会について

② 消防団長研修会について

③ 第34回茨城県幼年少年女性防火・防災大会について

④ 第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会について

⑤ 第25全国女性消防団員活性化青森大会について

⑥ 理事研修会について

⑦ 茨城県・古河市・五霞町・境町総合防災訓練について

⑧ 茨城県女性消防団活性化大会について

○ 第3回正副会長会議

日 時 令和2年2月14日(金)

場 所 水戸京成ホテル 3階「翡翠の間」

協議事項 理事会及び評議員会への提出議案について

(2) 理事会及び評議員会の準備及び開催

○ 第1回定時理事会

日 時 令和元年5月8日(水)  
場 所 県立健康プラザ 3階「大会議室」  
議 題 ① 平成30年度事業報告について  
② 平成30年度会計決算について  
③ 評議員会の招集について

○ 定時評議員会

日 時 令和元年5月24日(金)  
場 所 県立健康プラザ 3階「大会議室」  
議 題 ① 平成30年度事業報告の承認について  
② 平成30年度会計決算の承認について  
③ 理事、監事及び評議員の選任について

○ 臨時理事会

日 時 令和元年5月24日(金)  
場 所 県立健康プラザ 3階「大会議室」  
議 題 副会長の選任について

○ 第2回定時理事会

日 時 (書面決議) 令和2年3月13日(金)  
議 題 ① 令和2年度事業計画(案)について  
② 令和2年度収支予算(案)について  
協議事項 令和2年度の主な行事予定について

○ 評議員会

日 時 (書面決議) 令和2年3月27日(金)  
報 告 ① 令和2年度事業計画の承認について  
② 令和2年度収支予算の承認について  
協議事項 令和2年度の主な行事予定について

(3) 監査

平成31年4月26日(金)(公財)茨城県消防協会事務室において、公益財団法人茨城県消防協会定款第8条の規定に基づき、3名の監事、廣江 一夫(結城市消防団長)、山本 進(石岡市消防団長)、小山 茂(北茨城市消防本部消防長)により、平成30年度の業務及び会計について監査を受けた。

(4) 出資法人等指導実施要領の規定による監査

令和元年10月30日（水）茨城県出資法人等指導実施要領第12条第1項の規定に基づき、2名の監事、大畠邦幸（常陸太田市消防団長）、伊藤幸一（鹿島地方事務組合消防本部消防長）により、平成31(2019)年度上半期における業務及び会計の監査を受けた。